

ふたたび、《位相—大地》をめぐって(前編)

日本の戦後美術を代表する作品《位相—大地》の作者・関根伸夫さん(口サンゼルス在住)と、関根さんの多摩美術大学時代の先輩であり、一昨年、国立国際美術館(大阪)で開催された展覧会によって改めて注目を集めている美術家・柏原えつとむさん(京都在住)のお二方が、四半世紀の時をこえて、対話をしてくださいました(電話とメールですが)。きっかけは、昨年当館で開催した「大コレクション展 たまもの」のスペシャル・トークでの柏原さんの証言。筆者がこの証言をもとに関根さんに質問



関根伸夫《位相—大地》1968年(須磨離宮公園現代彫刻展)『週刊 朝日百科 世界の美術 139』(朝日新聞社, 1980年11月23日発行)より転載(撮影:三木多聞)

を送ったところ、柏原さんと直接話したいというお返事。聞けば、柏原さんが1987年に東京から京都に戻られて以来、会う機会はおろか、会話の機会もなかったそうです。

以下、お二人のメールからの抜粋による報告です。

【2014年3月7日: 柏原氏から関根氏宛】

「関根さま/わざわざ電話ありがとうございます。久しぶりに話せて楽しかったです。(中略)何しろ古い記憶なので思い違いもあるかも知れませんが、参考までに、僕の記憶を少し整理してみました。

- 1: 1967年11月1日～11日、柏原展会場(画廊クリスタル・銀座)
君を含む後輩たちが5、6人(人数は定かではない。4、5人だったかも)やってきて、画廊の床に車座になってぼくの作品《サイレンサー》について議論を始めた。君とはこのとき初めてゆっくり話したと記憶している。(後略)
- 2: 1967か68年、たぶん須磨公園の下見のときだったように思うが…
京都の寺社を巡って帰って来た(柏原宅・宇治へ)君が興奮して話した言葉。関根『白砂が盛り上げてあるだけなのに、感動させられた。あの砂はどこから持って来た?』、柏原『たぶん白川砂だろうがどこからかは知らない』、関根『あれ良いねえ。けど、他所から持ってくるより、あの場を掘って山を作れないかな。』この言葉に驚かされ、君の才能を見た気がした。この会話を引きずってビールを飲みながら、穴の掘り方などを話し合った。この時点で須磨の位相大地のプランになったかどうかは不明。『うまくやらないと蟻地獄になるよ』と笑ったのはよく覚えている。
- 3: 須磨での制作の中日か終了後か、このときも吉田くん(注: 吉田克朗氏)と二人で我が家へ泊まる。
柏原『どう、賞金は取れそう?』、吉田『あったりめえよ。俺が掘ってんだから、賞金はばっちりよ!こいつ(君)は見てるだけで何にもしねえんだ』
この時の会話は鮮明に記憶にのこっている。

- 4: 69年夏ごろ。
暑い日で移動の途中で涼みたくなり、赤坂プリンスホテル(たぶん)のロビーに座っていると、偶然通りがかった君に会った。当時、ぼくが夢中になっていた《Mr.X》のラフ図面を見せて説明したが、余り関心を示さず、『最近、韓国の哲学者(注: 李禹煥氏)と知り合ったんだ。面白いから紹介しようか』と言われたのも強く記憶に残っている。(後略)柏原」

【2014年3月8日: 関根氏から筆者宛】

「梅津元さま/あれから柏原さんと長話をしました。(中略)67年頃は私は日本美術に傾注していて可成り研修旅行をしていたので、4～5回は柏原さん宅に厄介かけたと思います。《位相—大地》もかなり根底に銀閣寺の向月台や上賀茂神社の円錐形の盛り砂があったのは確かですが、柏原さんとその辺の話をしてしたのは事実らしいですね。(中略)齋藤教室(注: 多摩美術大学における齋藤義重氏の教室)の先輩といえば柏原さんしか居ないですが、論戦が挑めた仲間であったのは事実ですし、話せる相手が居ると何処までも行った時期でした。(中略)柏原さんは歳が近かった関係から、あらゆることを喋った記憶がありますね。現代美術のテーマから美術家の生き方から、どんな事に関心があるかなど、当面の問題から将来のことまで、何でも話せた先輩だった気がします。(後略)関根」

2005年の常設展特別プログラム「アーティスト・プロジェクト: 関根伸夫《位相—大地》が生まれるまで」を手掛けて以来、調査を継続してきた立場からすると、この対話はとても重要な意味を持つのですが、紙幅が尽きました。1970年の大阪万博の際に再制作された《位相—大地》についての知られざる事実の報告も含め、次号に続きます。(G.U.)

戦後日本住宅伝説—挑発する家・内省する家

とき・7/5(土)～8/31(日)
 ところ・企画展示室(2階)
 内容・人間の生活の基本である「衣・食・住」の「住」に焦点を当てた本展覧会では、主に戦後日本の戸建て住宅について展示します。今や伝説ともなった建築作品の数々を、建築家のコンセプトとともに紹介し、建築家が「住まい」という私的な空間をどうとらえ、どう表現しようとしたかを探ります。
 観覧料・一般1100円(880円)、大高生880円(710円)
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付添い1名を含む)は、いずれも無料です。

《関連イベント》
 ○ 建築ツアー
 とき・7月16日(水) 10:30～15:00
 見学建築・「新宿ホワイトハウス(磯崎新)」、「塔の家(東孝光)」
 内容・本展で紹介する二つの住宅を、講師の解説を聞きながら現地で見学します。
 定員・20名(要申込み・抽選)/費用・1500円(交通費・食費等は各自負担)

○ 対談A[五十嵐太郎×建皇哲]・対談B[原広司×西沢立衛]
 A とき・7月21日(月・祝日) 13:30～15:30
 内容・本展の監修者である五十嵐太郎氏(東北大学教授)と当館館長・建皇哲が対談します。
 B とき・8月17日(日) 13:30～15:30
 内容・本展覧会の出品者である原広司氏と建築家・西沢立衛氏が世代をこえて建築について語り合います。
 ところ・講堂(2階)/定員・各100名(要申込み・抽選)/費用・無料

建築ツアー及び対談(A・B)への申込方法・往復はがき(各イベントにつき一人一枚)に返信の宛先を記入し、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号及びイベント名(「建築ツアー」「対談A」「対談B」のいずれか)を明記の上、当館企画展担当までお送りください。
 申込期限・「建築ツアー」「対談A」→6/25(水)まで(必着)
 「対談B」→7/28(月)まで(必着)

○ 学芸員によるギャラリー・トーク
 とき・7/26(土)、8/16(土) 各日とも15:00から30分程度
 ところ・企画展示室(2階)/費用・企画展観覧料が必要です。

アートフル∞プログラム MOMASの扉

- 8月の特別プログラム「サマー・アドベンチャー2014」
 内容・どのプログラムも「体験」がキーワード。大人から子供まで、夏休みならではの美術体験を楽しんでみてはいかがでしょうか?
- 8/2(土) 「オリジナルくくんボトルをつくろう」
 8/9(土) 「洗濯バサミで絵を描こう!」(事前申込み不要)
 8/16(土) 企画展「戦後日本住宅伝説」関連ワークショップ「住みつけてなに? 一名作住宅に寄生するところみ」
 8/23(土) 「座れる段ボールの椅子大集合!」(事前申込み不要)
 【第2回座れる段ボールの椅子グランプリ】受賞作品の鑑賞会
 8/30(土) 旅するオブジェ・プロジェクト「自分だけの小屋をつくってみよう」

※詳細は、6/10(火)から館内チラシやホームページにてお知らせします。

申込方法・7/1(火)から申込みを受け付けます。館内チラシ裏面の申込用紙に必要事項を記入し、FAXでお申し込みください。(申込用紙はホームページからもダウンロードできます。)



昨年度のサマー・アドベンチャー「洗濯ばさみで絵を描こう」の様子

○ 夏休みMOMASステーション
 とき・7/19(土)～8/24(日)の休館日をのぞく毎日
 内容・1階ロビーに美術館を楽しむためのガイドデスクを設置します。

MOMASコレクションⅡ

とき・6/14(土)～8/31(日)
 ところ・常設展示室(1階)
 観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付添い1名を含む)は、いずれも無料です。

◇ 画家のまなざし—モーリス・ドニと見るフランス近代絵画
 美術論にも健筆をふるった収蔵作家モーリス・ドニ。画家のまなざしを通してフランス近代の名品を紹介します。

◇ 読むように見ること—荒川修作の絵画
 世界の現代美術にインパクトを与え続けた荒川修作。新たに寄託された作品を中心に、その絵画世界を紹介します。

◇ リサーチ・プログラム: 小村雪岱をめぐって
 近年、人気上昇中の小村雪岱。寄託作品や新たに寄贈された資料を含め、マルチな活躍ぶりを紹介します。

《関連イベント》
 ○ サンデー・トーク
 内容・学芸員が展示作品から1点を選び、その作品について解説します。
 費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・6/22(日) 15:00から30分程度
 作品・モーリス・ドニ《トレストリニエルの岩場》1920年
 担当学芸員・渋谷拓



モーリス・ドニ《トレストリニエルの岩場》1920年

とき・7/20(日) 15:00から30分程度
 作品・荒川修作《無題性》1963年
 担当学芸員・大浦周

○ 上映会「死なない子供、荒川修作」
 とき・7月6日(日) 14:00から(13:30開場)
 ところ・講堂(2階)
 費用・無料/定員・100名(当日先着順)
 内容・三鷹天命反転住宅を中心に、荒川修作の活動を振り返るドキュメンタリー映画。上映後、山岡信貴監督によるトークがあります。
 監督:山岡信貴 ナレーション:浅野忠信 音楽:渋谷慶一郎(2010年、上映時間約80分)

美術館サポーターによる作品ガイド

とき・MOMASコレクション開催期間中の毎日14:00から30分程度
 ※ただし、6/14(土)、6/15(日)を除く。
 ところ・常設展示室(1階)/内容・美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。/費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

一般展示室(地階)

- ※展示により観覧時間(特に最終日の終了時間)が異なります。
- ◆ 5/27(火)～6/18(水)
 第64回埼玉県美術展覧会(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)
 一般展示室1～4ほか
- ◆ 6/25(水)～6/29(日)
 第33回埼玉県高等学校写真連盟写真展(写真)..... 一般展示室1
 第23回工芸新樹会公募展(工芸)..... 一般展示室2
 岸 雅翠 古稀記念展(書)..... 一般展示室3
 第5回椿会 創作人形展(工芸)..... 一般展示室4
- ◆ 7/1(火)～7/6(日)
 第13回埼玉独立展(水彩・油彩・ドローイング)..... 一般展示室1
 第8回埼玉モダンアート展(油彩・版画・彫刻)..... 一般展示室2・3
 第5回彩友会ボタニカルアート展(水彩)..... 一般展示室4
- ◆ 7/8(火)～7/13(日)
 第52回新構造埼玉展(水彩・油彩・ドローイングほか)..... 一般展示室1
 第30回アート現宇展(油彩・アクリル・コラージュ)..... 一般展示室2
 第8回フォト・トルトゥーガ展(写真)..... 一般展示室3・4
- ◆ 7/15(火)～7/20(日)
 第41回記念埼玉二紀展(油彩・彫刻)..... 一般展示室1～4
- ◆ 7/22(火)～7/27(日)
 Heart Art in SAITAMA 2014—色彩と明暗Ⅱ—(日本画・水彩・油彩ほか)
 一般展示室1
 親子三代展(写真・アートフラワー・折り紙)..... 一般展示室2
 第27回白の会洋画展(油彩・パステル)..... 一般展示室3
 16th BANSEI EXHIBITION(インスタレーション)..... 一般展示室4
- ◆ 7/29(火)～8/3(日)
 第28回墨芳展(書)..... 一般展示室1・3
 第21回基の会展(油彩・アクリル)..... 一般展示室2
 手作り絵画展第3回(水彩・油彩・ドローイング)..... 一般展示室4

ミュージアムショップからのおすすめ商品

今回は、半透明が美しい葉っぱ型のメモをご紹介します。

あら不思議?!手のひらにのせると温もりでゆっくりと丸まって、あなたのメッセージを包み込みます。葉っぱはゆっくり戻ります。ひらひら、はらはら...風に舞う一枚の葉にどんな一言をのせましょう。(I.M.)



《リーフメモ》ピンク、グリーン、イエロー各450円(税別) 20枚

利用案内

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
 TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119
 開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)
 6、7月の休館日・毎週月曜日(7月21日は開館)、6/24(火)
 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩約3分(北浦和公園内)
 【駐車場について】当館には来館者専用の駐車場はございませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。市営駐車場(有料)なども併せてご利用ください。団体バスでお越しの際には、事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

埼玉県立近代美術館